

ことばと文化 I (ジェンダーとことば)

(1) 科目の紹介

基本情報	平成 25 年度・教養教育・後期	曜日・校時	金 2 限
モジュール名	ことばと文化 (I)	科目名	ジェンダーとことば
教員名 (所属)	植木 とみ子 (非常勤)		教室 A-43
選択者数	89 名	1 年生の所属学部	医学部 歯学部 工学部 環境学部
再履修数	2 名		(43 名) (2 名) (29 名) (15 名)
<p>授業のねらい：</p> <p>日本語において、ジェンダーはどのように表現されているのか、またジェンダーは言葉を使う行為によりどのように形成されて来たのかを読み解き、ジェンダーの本質に迫りたいと思っています。</p>			
<p>アクティブラーニングに向けて工夫した点：</p> <p>学生が興味を持って課題に取り組み、ディスカッションに参加できるような教材の開発 要所要所で基本的な知識を与えるが、それが押し付けと捉えられないよう気を使った事</p>			

(2) 学修の評価

到達目標	すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的・大局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊すことができるような、自立した大人になるお手伝いをします。
成績評価の方法	課題への取り組み、グループディスカッションへの積極的参加、全体討論での積極的発言、定期試験の成績を総合評価する。

(3) 授業の進行

<p>概要：</p> <p>私たちは、ことばによりいかに規定されているか、このことを考えた事があるでしょうか？</p> <p>問題提起に引き続き、女性が様々な場面でどう表現されているか、女性自身のことばがどう作られて来たかを見ます。また現在子どもたちが使用している教科書において、いまだジェンダーが色濃く教えられ続けている現状を確認します。最後に、これらの状況が政治的に作られたものであり、本質的なものではないにもかかわらず、日本の女性を第二市民のままに位置づけている状況について考えてみたいと思っています。</p> <p>新しい女性観が生まれるかもしれません。</p>		
回	学習内容	授業方法 (講義、グループワーク、プレゼンなど)

1	自己紹介・プレゼンの仕方	プレゼン
2	自己紹介・プレゼンの仕方	プレゼン
3	自己紹介・プレゼンの仕方	プレゼン
4	「福岡市かわいい区」について	賛否のディスカッション 「かわいい」という形容詞について
5	歌に表現された女性、1	30年前の流行歌の歌詞を検討 おとこにすぎる女、講義
6	歌に表現された女性、2	学生が歌っている、現代の流行歌の歌詞を 分析、グループワーク、プレゼン
7	名言やことわざの中の女性、1	女性に関する名言やことわざを収集する、 グループワーク
8	名言やことわざの中の女性、2	内容を検討し、女性に対する否定的な内容 が多いのにびっくり、プレゼン
9	女性に関する形容詞	その多さに、日本社会が男性目線で造られ ている事を理解する、ディスカッション
10	小学校国語教科書分析、1	20年前、10年前の教科書の男女差別に 関する分析を読む、講義
11	小学校国語教科書分析、2	20年前、10年前の教科書と現代の教科 書の比較、グループワーク
12	小学校国語教科書分析、3	現代の教科書を同じ視点で分析する いまだ問題が多々ある事に驚く、プレゼン
13	男ことばと女ことば	日本語に特有の男ことば、女ことばの歴史 を見る、講義
14	女ことばの政治的機能	日本のジェンダーバイアスの歴史的状況 に付いて、講義、ディスカッション

15	女ことばの政治的機能・問題に立ち向かうために	日本のジェンダーバイアスと世界の比較、ディスカッション
----	------------------------	-----------------------------

(4) 授業の成果

全体の総括	このような形の授業は初めてで、毎回手探りでしたが、自分たちでできるだけ考えさせる事によって、潜在意識の部分まで踏み込むことが出来たと、最後の試験答案を読んで感じました。
今後の改善点	毎回授業資料を用意するのが精一杯のようなところがあったので、二度目はすこしシステムチックにやりたいと考えています。

(5) アクティブ・ラーニングの充実に向けた提案

ポイント提案	はじめのグループづくりと、自己紹介、プレゼンの仕方の指導が授業全体にとってもよい効果をもたらしたと感じています。
参考になる資料	